

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|-----|
| 分類 | 総論 |
| 関係課名 | 財政課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画で「施設類型別マネジメント方針」を定めるとともに、毎年の進捗管理（取組み状況を公表）によりPDCAサイクルを回す。 ・全庁的な公共施設マネジメントの推進を図るため、引き続き「公共施設マネジメントプロジェクトチーム（FMPT）」を開催する。 ・公共建築物全体の維持補修・更新にかかる長期的な費用を把握するため、表計算ソフトによる簡易的な「公共施設等更新費用のシミュレーション」を作成する。シミュレーションを活用し、予算を平準化しつつ計画的に実施する。 ・公共建築物の施設管理者による日常点検をチェックシートに基づき実施する。 ・公共施設等マネジメント基金を有効に活用する。 ・施設の包括管理制度の導入の可能性について、本市に市場性があるか民間事業者へのサウンディングを行う。 |
|---|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | FMPT や行政改革推進本部を開催し、施設類型別方針を決定したうえで、公共施設等総合管理計画を更新した。新たに公共施設等マネジメント基金を設置した。 |
| 計画 | 2022 | 施設所管課による施設点検を制度化（年度当初に施設管理者研修会を実施） |
| | 2023 | PDCAサイクルによる実施 |
| | 2024 | PDCAサイクルによる実施 |
| | 2025 | PDCAサイクルによる実施 |

3. 2022年度の取組内容

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・FMPT を開催し、旧市立水泳場の跡地活用や未利用地の売却について全庁横断的に検討するとともに、個別施設について進捗管理を行った。 ・財政計画に活用できるよう、今後15年間における公共施設中期財政シミュレーションを作成した。 ・市役所と図書館の空調改修にあたり、カーボンニュートラルシティ宣言を踏まえ、熱源方式やコスト比較について部局横断的な検討を行った。 |
|---|

4. 今後の方針等

- ・施設所管課による施設点検を制度化させるため、施設管理者研修会を実施する。
- ・包括施設管理委託の導入可能性について調査・研究を行う。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|-----------|
| 分類 | 建築 ①行政系施設 |
| 関係課名 | 行政課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎機能は、DX(デジタル・トランスフォーメーション)による変化を見極めつつ、集約化による施設の有効利用や床面積の縮減を検討する。 ・裾野市役所で改修が必要となっている空調設備や照明設備は、改修費用を事業者提案による省エネ化に伴う光熱水費の削減分で賄える「ESCO 事業」による実施が可能であるか検討する。併せて、図書館との同時実施も検討する。 ・水道庁舎は、長寿命化せず最低限の維持補修を行い、将来的に他の行政系施設と複合化する。 ・裾野駅西土地区画整理事業事務所は、事業の進捗をみながら最低限の維持修繕を行い、施行進捗に合わせて解体する。 ・富士山南東消防組合へ無償貸付している施設の在り方については、「富士山南東消防組合公共施設等総合管理計画」の基本的な方針を踏まえ、必要に応じ富士山南東消防組合及び構成市町と協議を行う。 ・消防団詰所は、施設の更新時期にあわせた集約化の可能性を検討する。 |
|---|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | 裾野市役所本庁舎の空調設備改修に関して、ESCO 事業導入の可能性を調査・検討した結果、コスト面で市のメリットが生じないことが判明した。 |
| 計画 | 2022 | 庁舎機能の集約化の検討、消防団詰所の統合の可能性を協議 |
| | 2023 | 庁舎機能の集約化の検討、消防団詰所の統合の可能性を協議 |
| | 2024 | 庁舎機能の集約化の検討、消防団詰所の統合の可能性を協議 |
| | 2025 | 庁舎機能の集約化の検討、消防団詰所の統合の可能性を協議 |

3. 2022 年度の取組内容

- ・本庁舎の空調設備の改修について、熱源方式・補助金活用・調達方式・ESCO サービスの導入について、(一社)ESCO・エネルギーマネジメント推進協会に加盟する民間事業者へプレサウンディングを行った。
- ・庁舎機能集約化に向けて、本庁舎3階間仕切壁撤去工事、旧市長応接室改修工事等を実施し、区画整理事務所を本庁舎に集約した。また、水道庁舎の本庁舎への集約について検討を開始した。

4. 今後の方針等

- ・ESCO 事業導入の調査・検討結果を踏まえて、本庁舎の空調設備改修方法を決定する。
- ・非常用発電設備の改修に向けた検討を行う。
- ・修繕、各種法定点検等の長期的な予定の再確認を行う。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|---|
| 分類 | 建築 ②保健・福祉施設 |
| 関係課名 | 健康推進課、子育て支援課、総合福祉課、産業観光課 ※令和5年1月より、ヘルシーパーク裾野の管理運営事務を健康推進課から産業観光課へ移管した。なお、分類は計画改定までは現在のままとする。 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・福祉保健会館は、福祉機能および子育て支援機能の拠点として集約化を進める。また、駐車場の確保を含めた借地の解消の方向性と、入浴施設「せせらぎの湯」を含む老人福祉センター機能の在り方を検討する。 ・ヘルシーパーク裾野は、民間でもサービスの提供が可能であることから、長期的な維持管理・運営コストを検証し、市の財源を投入しなくても運営が可能な指定管理者等を選定できるよう検討・協議を行う。 ・福祉センター石脇は、将来的な民間譲渡の可能性を検討する。併せて、隣接する市有地残地の有効活用も含めて検討する。 ・シルバーワークプラザは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」第五条の規定により市がシルバー人材センターの拠点確保を支援する必要があるが、拠点は市有施設に限定されていないため、各形態の費用や利便性を比較し今後の在り方を検討する。 |
|---|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | ヘルシーパーク裾野の指定管理者選定にかかる公募・現地説明会を実施した。 |
| 計画 | 2022 | 老人福祉センター機能の在り方、福祉センター石脇の民間譲渡の可能性、シルバーワークプラザの今後の在り方を検討。 |
| | 2023 | 老人福祉センター機能の在り方、福祉センター石脇の民間譲渡の可能性、シルバーワークプラザの今後の在り方を検討。 |
| | 2024 | 老人福祉センター機能の在り方、福祉センター石脇の民間譲渡の可能性、シルバーワークプラザの今後の在り方を検討。 |
| | 2025 | 老人福祉センター機能の在り方、福祉センター石脇の民間譲渡の可能性、シルバーワークプラザの今後の在り方を検討。 |

3. 2022 年度の取組内容

- ・ヘルシーパーク裾野は、指定管理者を公募し選定審査を実施した結果、事業者の指定及び施設営業の再開を果たした(8月プレオープン、10月正式オープン)。民間での運営について検討するため、指定管理期間を令和7年度までとした。令和5年1月に健康福祉部から産業振興部に移管した。
- ・老人福祉センターは、施設の老朽化に伴い機能のあり方について、FMPTで修繕・移設・廃止を検討した。
- ・福祉センター石脇は、遊休地の民間譲渡を含め利活用についてFMPTで検討した。
- ・シルバーワークプラザの将来の在り方について、部内で民間譲渡等の検討をおこなった。

4. 今後の方針等

- ・老人福祉センターは、利用者である老人クラブと今後の在り方について検討する。
- ・福祉センター石脇遊休地は、引き続きFMPTで検討していく。
- ・シルバーワークプラザは、施設の老朽化等により検討していく

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|-------------|
| 分類 | 建築 ③市民文化系施設 |
| 関係課名 | 生涯学習課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化センターの会議室やホールは、生涯学習センター（④社会教育系施設）等にも類似機能を有していることから、利用状況を分析し、実態に合わせた集約化を検討する。実施にあたっては、室の利用率だけで判断せず、利用者の利用形態（ダンス、会議、ワークショップ、楽器演奏…など）を分析したうえで、市民サービスを維持しつつ必要に応じて既存施設のリニューアル（室用途や広さの見直し）等を併せて実施する。 ・長期的には、市民文化センターあるいは生涯学習センターのいずれかへ統合化を行い、同時に財政条件の検討（民間売却時の試算や防衛補助金の返還義務などの調査）を行う。 ・市民文化センターは、民間活力の活用などにより利用増進を図りながら、適切な規模で長寿命化の修繕・改修を行い存続していくが、第2期行財政構造改革の取組期間中は、改修を抑制するとともに、安全上の影響が生ずる場合には機能の一時停止も視野に入れる。 |
|--|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|---|
| 実施 | 2021 | 2022年度に予定している市民文化センターの改修について検討を行い、特定天井落下防止措置工事を実施する方針とした。 |
| 計画 | 2022 | 会議室等の新たな集計方法による利用状況の把握 |
| | 2023 | 会議室等の新たな集計方法による利用形態の分析、方向性の検討 |
| | 2024 | 会議室等の新たな集計方法による利用形態の分析、方向性の検討 |
| | 2025 | 会議室等の方向性の決定 |

3. 2022年度の実施内容

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化センターは、多目的ホールの特定天井落下防止措置工事に着手した。 |
|--|

4. 今後の方針等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・会議室等の利用状況把握について新たな集計方法を用いて実施する。 ・利用形態の分析を複数の施設で横断的に行い、各施設の方向性を検討する。 |
|---|

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|-------------|
| 分類 | 建築 ④社会教育系施設 |
| 関係課名 | 生涯学習課・鈴木図書館 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターの会議室やホールは、市民文化センター（③市民文化系施設）等にも類似機能を有していることから、利用状況を分析し、実態に合わせた集約化を検討する。実施にあたっては、室の利用率だけで判断せず、利用者の利用形態（ダンス、会議、ワークショップ、楽器演奏…など）を分析したうえで、市民サービスを維持しつつ必要に応じて既存施設のリニューアル（室用途や広さの見直し）等を併せて実施する。 ・長期的には、市民文化センターあるいは生涯学習センターのいずれかへ統合化を行い、同時に財政条件の検討（民間売却時の試算や防衛補助金の取扱いなどの調査）を行う。 ・富士山資料館は、2021年度末で休館し、収蔵品の取扱い、防衛補助の返還協議を進める。併せて、本市における資料館機能の在り方を検討し、深良地区郷土資料館を含めて、既存施設（市民文化センター等）への複合化を行う。 ・鈴木図書館は、個別施設計画に基づき、適切に長寿命化工事を実施する。 |
|--|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | 富士山資料館を2021年度末で休館した。鈴木図書館の空調設備改修に関して、ESCO事業導入の可能性を調査・検討した結果、コスト面で市のメリットが生じないことが判明した。 |
| 計画 | 2022 | 富士山資料館の資料の活用を検討 会議室等の新たな集計方法による利用状況の把握 |
| | 2023 | 郷土資料館機能の集約化・複合化による最適化方針を検討 会議室等の新たな集計方法による利用形態の分析、方向性の検討 |
| | 2024 | 郷土資料館機能の集約化・複合化による最適化方針を検討 会議室等の新たな集計方法による利用形態の分析、方向性の検討 |
| | 2025 | 郷土資料館機能の最適化方針の決定 会議室等の方向性の決定 |

3. 2022 年度の取組内容

- ・鈴木図書館の空調設備の改修について、熱源方式・補助金活用・調達方式・ESCO サービスの導入について、(一社)ESCO・エネルギーマネジメント推進協会に加盟する民間事業者へプレサウンディングを行った。
- ・富士山資料館の資料の活用について検討した。
- ・ふれあい教室を図書館に移転し、図書館施設の稼働率の上昇を図った。
- ・生涯学習センターは指定管理者の再公募にあたり検討し次年度(令和5年度)以降は直営化とした。

4. 今後の方針等

- ・ESCO 事業導入の調査・検討結果を踏まえて、鈴木図書館の空調設備改修方法を決定する。
- ・富士山資料館の移転について、出張展示と平行し、有効な展示方法を検討する。
- ・利用形態の分析を複数の施設で横断的に行い、各施設の方向性を検討する。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|----------------------|
| 分類 | 建築 ⑤スポーツ・レクリエーション系施設 |
| 関係課名 | 生涯学習課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・借地上の施設が多く、本市の借地全体の約45%を占めており、今後も財政面で負担が生ずることが予見されることから、施設の利用率や利用団体、広域的な見地からの必要性等を検証し、最適化の方針を定める。なお、存続させる施設については、計画的な借地解消に向けた取組みに着手する。 ・市民体育館は、個別計画に基づき計画的な修繕を実施する。 ・運動公園総合体育施設の改修については、第2期行財政構造改革の取組期間中の実施は抑制するとともに、安全上影響が生ずる場合には機能の一時停止も視野に入れる。 ・グラウンド系（運動公園総合体育施設、総合グラウンド、深良グラウンド、須山グラウンド、須山テニス・フットサル場）は、利用団体ごとの利用状況の特性や利用目的を個別に分析するとともに、「夜間・休日における学校施設のグラウンド活用」を含めて、集約化を検討する。 ・運動公園総合体育施設の存続にあたっては、現在のような公式競技利用者に合わせた機能・料金体系ではなく、ニーズの高い一般市民が利用しやすくなるよう、既存施設のリニューアルを含めた在り方を検討する。 |
|---|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|---|
| 実施 | 2021 | 利用料金の設定が運動公園施設（午前・午後・夜間）と総合グラウンド（1時間単位）で異なるため、利用実態調査が同一条件になっていない。指定管理者に運動公園施設の利用実態を時間単位で把握できないか打診をした。 |
| 計画 | 2022 | グラウンド系施設の利用実態の調査（各施設） |
| | 2023 | グラウンド系施設の利用実態の分析、最適化方針を検討 |
| | 2024 | グラウンド系施設の最適化方針を決定 |
| | 2025 | 存続する施設の土地取得と廃止する施設の借地返還を交渉 |

3. 2022年度の取組内容

- ・運動公園の設備改修工事を実施した。
- ・スポーツ推進審議会において、スポーツ施設維持整備に関する協議が行われ、意見書が提出された。
- ・指定管理者において、各施設の利用実態を時間単位で集計した。

4. 今後の方針等

- ・各施設の利用実態を分析し、最適化の方針を検討する。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|-------------|
| 分類 | 建築 ⑥子育て支援施設 |
| 関係課名 | こども未来課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・児童館は、児童館機能を維持しつつ、他の子育て支援機能（子育て世代包括支援センター、家庭児童相談室機能、障がい者相談支援センター機能等）と併せて福祉保健会館に集約化・複合化させる。 ・放課後児童室は、引き続き利用者のニーズを把握しつつ、原則として小学校の余裕教室や市有施設を利用した複合化により実施していく。 ・保育園・幼稚園は、「裾野市幼児施設整備基本構想」および、民間事業者の参入傾向を踏まえ、民間事業者による私立こども園の整備を支援する。公立施設は更新時期に併せた縮小・集約化（公立こども園化）を図る。 |
|--|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | 富岡第二幼稚園の閉園記念事業を実施し、3月31日付で閉園した。北児童館を12月31日付で閉館し、民営の小規模保育事業所（2022年4月1日開園）に用途変更した。幼児施設整備基本構想を改訂した。 |
| 計画 | 2022 | 私立こども園の整備を支援、公立園の集約化の検討 |
| | 2023 | 私立こども園の整備を支援、公立こども園設置の検討 |
| | 2024 | 私立こども園の整備を支援、公立こども園設置の検討 |
| | 2025 | 私立こども園の整備を支援、公立こども園設置の事業化 |

3. 2022年度の実施内容

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・富岡、深良地区の公立幼稚園・保育園を統合し、令和8年4月開園を目標に、富岡保育園を活用した市立認定こども園及び市立水泳場跡地に私立認定こども園を設置する方針を公表した。 ・統合を進める園の保護者に対し、市の方針やスケジュールの説明を開始した。 ・福祉保健会館に子ども家庭総合支援拠点を設置し、家庭児童相談室、児童館機能を含め集約化させた。 |
|--|

4. 今後の方針等

- ・ 国県交付金の調整等、私立こども園の整備を支援する。
- ・ 市立水泳場跡地に私立認定こども園を設置するため、関係部署との調整を行うとともに、必要な調査を実施する。
- ・ 公立園の統合、認定こども園化について、保護者、地域住民へ説明を実施する。
- ・ 保護者や地域の意向などを反映した「地区別再編計画」を策定する。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|-------------|
| 分類 | 建築 ⑦学校教育系施設 |
| 関係課名 | 教育総務課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・複式学級化や全学年単学級が予測される中、教育的見地からも学校統合の方針（「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」2015年1月文部科学省）が示されており、2022年に「学校教育施設再編基本計画」を策定し、床面積30%の縮減に向けた具体的な取組みを進める。存続させる方針となった施設は、計画的な工事を図り児童生徒の安全を確保する。また、施設再編後の利活用については、今後整備を要する機能、既存の施設の移設等、教育委員会だけでなく全庁的な協議調整を進めて全体最適化を図る。 ・学校給食については、策定予定の「学校教育施設再編基本計画」の方針を踏まえ、中長期的な必要供給量を把握し、適切な規模を設定したうえで、委託による提供の可能性や、自校式から給食センター方式への移行によるコスト縮減など、幅広く検討する。 |
|--|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|---|
| 実施 | 2021 | 学校教育施設再編推進本部を立ち上げ、庁内の協議を行いながら、学校関係（小・中・幼・保）及び地域への意見交換会を行った。 |
| 計画 | 2022 | 「学校教育施設再編基本計画」を公表 |
| | 2023 | 再編基本計画により再編を実施 |
| | 2024 | 再編基本計画により再編を実施 |
| | 2025 | 再編基本計画により再編を実施 |

3. 2022年度の実施内容

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校等の関係者及び地域の意見交換会を重ね（53回）、令和5年3月に「裾野市学校教育施設再編基本計画」を策定し公表した。 ・借家で運営していたふれあい教室を図書館に移転した。 ・給食センターの官民連携による整備手法について検討した。 |
|--|

4. 今後の方針等

- 裾野市学校教育施設再編基本計画に基づき、向田小学校と東小学校の再編（統合）に取り組む。また、策定した再編計画の説明会を地域や保護者向けに行う。
- 給食センターの官民連携による整備についてサウンディング型市場調査を行う。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|------------|
| 分類 | 建築 ⑧供給処理施設 |
| 関係課名 | 生活環境課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・美化センターは、本市単独整備だけではなく、近隣市町の更新時期に合わせた広域化や、近隣自治体への一時的な処理委託等も視野に入れ、近隣自治体との連携・協議を行い、施設の整備費用や維持管理費用の縮減を検討する。併せて、現行施設については最小限の費用で延命措置を実施する。 ・最終処分場は、次回の契約期間満了（2025年12月31日）までに今後の方針を定める。 ・裾野長泉斎苑〔新斎場〕は、長期修繕計画を策定し、計画的に維持補修工事を実施する。 |
|---|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | 美化センターの更新については、「静岡県一般廃棄物広域化マスタープラン」で示された広域化グループ（裾野市、三島市、長泉町、函南町、熱海市）による勉強会を、県に主体となってもらい実施した。また、既存施設の延命化については、延命方法について、施設設置業者や県と話し合いを行った。 |
| | 2022 | 美化センター延命化工事検討、新焼却施設の近隣市町との協議 |
| 計画 | 2023 | 美化センター延命化工事検討、新焼却施設の近隣市町との協議 |
| | 2024 | 美化センター延命化工事準備、新焼却施設の近隣市町との協議 |
| | 2025 | 美化センター延命化工事実施、新焼却施設の近隣市町との協議 |

3. 2022年度の実施内容

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・美化センターは、各省庁の補助金の研究、施設内容や規模等について事業者から情報収集、庁内関係部署との調整等を実施した。整備手法については、民間活用による単独整備を検討することとした。 |
|---|

4. 今後の方針等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・美化センターの更新時期により延命化の仕方も変わるため、今後の美化センター更新の方向性を定め、スケジュールを策定し、事業を進める。 |
|---|

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|----------|
| 分類 | 建築 ⑨公営住宅 |
| 関係課名 | まちづくり課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・新稲荷団地は、今後46年間の耐用寿命があることから「公営住宅等長寿命化計画」に基づき計画的な長寿命化修繕を行うとともに、借地の解消を検討する。 ・舞台団地と上原団地の一部は、非現地建替えの方針であるため、将来の解体・借地返還を見据え、段階的に退去後の入居制限を開始する。 ・併せて、「借上型公営住宅制度」（民間賃貸住宅を公営住宅として一定期間借上げる。建設費等の多額の初期投資を必要としない効率的な公営住宅の供給が可能）や「住宅確保要配慮者専用住宅制度」（住宅セーフティネット法に基づく民間賃貸住宅への家賃補助）など民営化による「ソフト対応」も検討する。 |
|--|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | 住生活基本計画・公営住宅等長寿命化計画の改訂を行い、計画内で公営住宅の需要の再算定を行った。 |
| 計画 | 2022 | 舞台団地と上原団地の一部は、段階的に退去後の入居制限を開始 |
| | 2023 | 市有地への直接建設、既存借上げ、家賃補助等の長期的なコスト比較を実施 |
| | 2024 | コスト比較に基づく供給方針の検討 |
| | 2025 | コスト比較に基づく供給方針の検討 |

3. 2022年度の実施内容

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・市営舞台団地の一部と上原団地は、退去後の入居制限を開始した。また、入居制限に伴う地権者への説明会、居住者の減少に伴う上原団地の浄化槽清掃費等の住民負担のあり方について検討した。 |
|---|

4. 今後の方針等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅の需要は、数的には充足することから、現在の管理戸数を引き続き維持する。増え続ける団地の空室は、借地問題を抱えるため「政策空家」を計画し、新たな入居を制限する。 |
|--|

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|--------------|
| 分類 | 建築 ⑩公園 |
| 関係課名 | 産業観光課、まちづくり課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレは、公益財団法人静岡県市町村振興協会による「市町村振興事業（公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業）」の補助金（補助率 10/10）を活用し、補助金の範囲内で段階的に、ユニバーサルデザイン化や LED 化（公園内水銀灯の LED 化を含む）を進める。ただし、この補助金は、公衆トイレ以外の公共施設や地区防犯灯の LED 化等にも活用されるものであるため、配分された範囲で段階的に実施する。 ・借地である公園駐車場は、利用状況（曜日別・時間帯別等）を分析して必要性や必要台数を検討する。 |
|--|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | 市町村振興事業（公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業）の補助金を活用し、中央公園の身体障がい者用トイレを多目的トイレに改修した。 |
| | 2022 | 補助金の範囲内で段階的に UD 化や LED 化、借地である公園駐車場の検討 |
| 計画 | 2023 | 補助金の範囲内で段階的に UD 化や LED 化、借地である公園駐車場の検討 |
| | 2024 | 補助金の範囲内で段階的に UD 化や LED 化、借地である公園駐車場の検討 |
| | 2025 | 補助金の範囲内で段階的に UD 化や LED 化、借地である公園駐車場の検討 |

3. 2022 年度の実施内容

| |
|-------------------------|
| 公園内水銀灯の LED 化を 1 基実施した。 |
|-------------------------|

4. 今後の方針等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・補助金を活用して公園施設の UD 化や LED 化を検討する。 ・借地である公園駐車場の利用状況を分析して必要性や必要台数を検討する。 |
|---|

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|---------|
| 分類 | 建築 ⑪その他 |
| 関係課名 | 関係課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 駿東地区教育会館は、今後の在り方について検討する。 ・ 市営墓地は、受益者負担の考え方により、墓地使用者からの管理料で維持管理を行う。 ・ 裾野駅西土地地区画整理事業仮設住宅は、事業の進捗をみながら最低限の維持修繕を行い、換地処分後、速やかに解体する。 |
|--|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|-----------------------|
| 実施 | 2021 | 2021年度は該当なし |
| 計画 | 2022 | 駿東地区教育会館の今後の在り方について検討 |
| | 2023 | 駿東地区教育会館の今後の在り方について検討 |
| | 2024 | 駿東地区教育会館の今後の在り方について検討 |
| | 2025 | 駿東地区教育会館の今後の在り方について検討 |

3. 2022年度の実施内容

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 駿東地区教育会館の建築上における法的規制について確認した。 |
|---|

4. 今後の方針等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 駿東地区教育会館の今後の在り方について検討する。 |
|--|

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|------------|
| 分類 | インフラ資産（道路） |
| 関係課名 | 建設管理課・建設課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

・道路破損個所の修繕の実施及び交通量の多い路線の舗装補修を実施していく。

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | 市民通報及び地区要望に伴い道路修繕を実施した。道路パトロールや委託契約により道路の舗装の穴埋めや除草・清掃を実施した。市道1-4号線、市道1-13号線、市道1-15号線、市道4053号線等の交通量の多い路線の舗装補修を実施した。 |
| 計画 | 2022 | 道路修繕及び交通量の多い路線の舗装補修 |
| | 2023 | 道路修繕及び交通量の多い路線の舗装補修 |
| | 2024 | 道路修繕及び交通量の多い路線の舗装補修 |
| | 2025 | 道路修繕及び交通量の多い路線の舗装補修 |

3. 2022年度の実施内容

・市民通報及び地区要望に伴い道路修繕を実施した。
 ・道路パトロールや委託契約により道路の舗装の穴埋めを実施した。
 ・市道1-4号線、市道1-13号線、市道1-15号線、市道4053号線等の交通量の多い路線の舗装補修を実施した。

4. 今後の方針等

・市民通報・地区要望や道路パトロール等により、早期性の高い道路施設の修繕を実施していく。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|------------|
| 分類 | インフラ資産（橋梁） |
| 関係課名 | 建設管理課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

・5年に1回の定期点検の結果により、補修の優先順位を検討し、橋梁個別施設計画を改定により計画的な補修を実施していく。

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | 御殿場市と協議を行い市境の橋（新西川橋）の補修を実施した。千福地先の寿橋外4橋の補修を実施した。 |
| 計画 | 2022 | 橋梁個別施設計画（2年目） |
| | 2023 | 橋梁個別施設計画（3年目） |
| | 2024 | 橋梁個別施設計画（4年目） |
| | 2025 | 橋梁個別施設計画（5年目） |

3. 2022年度の実施内容

・長泉町境の新愛鷹橋の補修を実施した。深良地先の大比羅橋他10橋の補修を実施した。

4. 今後の方針等

・定期点検の結果に基づき、補修の優先順位を検討し、計画的な補修を実施していく。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|-----------------|
| 分類 | インフラ資産（上水道） |
| 関係課名 | 上下水道経営課・上下水道工務課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「裾野市新水道ビジョン」に基づき、計画的な修繕を行う。ビジョンは随時見直しを図る。 ・敷設替え時の管口径サイズの変更などによるダウンサイジングを図る。 |
|---|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|--|
| 実施 | 2021 | 裾野市新水道ビジョン等の計画に基づき施設更新を行った。裾野市水道事業基本計画を策定し、全体計画の見直しを行った。 |
| 計画 | 2022 | 裾野市新水道ビジョンに基づき計画的に施設更新 |
| | 2023 | 裾野市新水道ビジョンに基づき計画的に施設更新 |
| | 2024 | 裾野市新水道ビジョンに基づき計画的に施設更新 |
| | 2025 | 裾野市新水道ビジョンに基づき計画的に施設更新 |

3. 2022年度の実施内容

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・裾野市新水道ビジョン等の計画に基づき施設更新を行った。 ・前年度策定の裾野市水道事業基本計画に基づき、施設整備の見直しを図った。 ・上下水道事業審議会を開催し、事業経営について審議した。 |
|--|

4. 今後の方針等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き計画に基づく施設更新を行うとともに、管路更新計画を策定する。 ・基本計画に基づき、新水道ビジョン等各種計画の修正を図る。 ・毎年度、上下水道事業審議会を開催し、事業経営について審議する。 |
|--|

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方針 進捗管理シート【2022年度】

| | |
|------|-----------------|
| 分類 | インフラ資産（下水道） |
| 関係課名 | 上下水道経営課・上下水道工務課 |

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業法適用の企業会計であるが、一般会計から繰入金を支出している。一般会計繰出金を抑制し、かつ安定した事業運営を行うために、事業の計画的な執行及び維持管理コストの削減を図ります。また、毎年度上下水道審議会を開催し、事業の経営状況を確認・審議すると共に、受益者負担の原則に基づき、適正な下水道使用料を概ね5年ごとに審議し、使用料改定を検討します。 ・2016年度に策定した裾野市汚水処理施設整備構想（下水道アクションプラン）【計画期間：2017～2026年度】に基づき、事業計画区域の未整備区域の内、市街化区域（99.2ha）について整備を進める。 ・マンホールポンプ設備は、ストックマネジメント計画に基づき改築事業を行う。管路については、総延長がおよそ100kmあるため、計画的に調査を実施し計画を更新していく。 |
|--|

2. 年次別計画（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

| | 年度 | 計画内容または実施内容 |
|----|------|---|
| 実施 | 2021 | 下水道アクションプランやストックマネジメント計画に基づき整備した。使用料改定により、経費回収率の改善を図った。 |
| 計画 | 2022 | 下水道アクションプランに基づく整備 下水道アクションプランの見直し |
| | 2023 | 下水道アクションプランに基づく整備・事業計画及び区域の見直し |
| | 2024 | 下水道アクションプランに基づく整備・事業計画及び区域の見直し |
| | 2025 | 下水道アクションプランに基づく整備 |

3. 2022年度の実行内容

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・下水道アクションプランやストックマネジメント計画に基づき整備を行った。 ・裾野市汚水処理施設整備構想（下水道アクションプラン）の見直しを実施した。 ・上下水道事業審議会を開催し、事業経営について審議した。 |
|---|

4. 今後の方針等

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き計画に基づいた整備を進める。 ・事業計画及び下水道区域は必要に応じ見直しを行う。 ・毎年度、上下水道事業審議会を開催し、事業経営について審議する。 |
|--|